

日本原子力学会 核燃料部会
令和5年度第一回運営小委員会議事録

日時 : 令和5年5月18日(木) 13:30~15:45 於 WEB会議(Webex)

出席者 : 佐藤部会長, 尾形副部会長, 逢坂副部会長, 阿部委員, 宇田川委員, 内川委員, 小原委員, 片山委員, 川本委員, 樽松委員, 黒崎委員, 園田委員, 高田委員, 鶴田委員, 長嶺委員, 橋爪委員, 樋口委員, 松永委員, 森本委員, 渡部委員, 川西様, 大谷(記)

議事

1. 前回議事録等の確認(資料1)

大谷から、前回(令和5年度第四回)運営小委員会議事録を報告した。

2. 令和5年度核燃料部会業務分担について(資料2)

大谷から、令和5年度核燃料部会業務分担について説明した。佐藤部会長、逢坂副部会長、森本委員よりご挨拶頂いた。

3. 令和4年度収支実績と令和5年度予算について(資料3)

大谷から、令和4年度の収支実績(2月末時点)および令和5年度予算案(11月事務局提出済み)について報告した。

4. 企画小委員会の概要について(資料4)

逢坂副部会長から、5月11日に開催された企画小委員会について、2023年秋の大会企画セッション、2023年度夏期セミナーの議論他について説明された。

5. 核燃料部会・部会賞(学会講演賞、奨励賞)について(資料5)

川西様より、2023年春の年会核燃料部会(学会講演賞)の選考結果が報告され、選定の基準等についての確認を踏まえて、都市大山崎氏を選定することが承認された。

樽松委員から、2023年度部会賞選考小委員会委員の選任について報告され、佐藤部会長から委員の委嘱を頂いた。

樽松委員から、学会講演賞の選考・運用の見直しについて、評価者、選考委員からのコメントを踏まえた、企画小委での議論結果について説明された。要改善項目として、①評価者間のばらつきを少なくすること、②プレゼンスキルのみならず、研究内容への評価の充実が挙げられ、議論の結果、①については、選考小委の評価者各位においては、講演賞応募者全員を評価することを原則とすること、また、②については、研究内容への評価項目の詳細化を行うこととした。秋の大会学術講演賞の募集案内までに検討進めることとした。

6. 2023 年秋の大会での企画セッションについて（資料 6）

橋爪委員から、核燃料部会企画セッション「優秀な人材を核燃料分野に集めるには？」について説明された。講演 2 件、パネルディスカッションで構成され、パネルディスカッションのテーマ、参加者については、引き続き調整していくこととした。

7. 夏期セミナーについて（資料 7）

片山委員から、2023 年度夏期セミナーの開催内容について報告された。現地開催（8/28,29：BIZcomfort 水戸）として、核燃の基礎、講演、ポスターセッション、大洗研究所見学（常陽、AtheNa、FMF）のプログラムにて実施する旨報告された。講習テキストについては、PC、タブレットによる受講が一般化していることも踏まえて対応していくこととした。

8. 核燃料部会報について（資料 8）

内川委員から、核燃料部会報 No.58-2（2023 年 5 月末～6 月上旬頃発行予定）について、発刊に向けた原稿準備が整った旨報告された。核燃料部会報 No.59 は 12 月発刊予定している。

9. WRFPM2023 における基調講演について（資料 9）

逢坂副部長から、CNS より核燃料部会に依頼があった WRFPM2023 における基調講演について、逢坂副部長が講演者となること、また、プレゼン資料作成について、関係者への協力の依頼があった。

10. アジアジルコニウムワークショップ（AZW）の開催について

阿部委員から、本年度、AZW を核燃料部会主催にて、日本で開催（年末から年明けぐらいの時期、東京）を予定している旨報告され、了解された。核燃料部会主催による事務手続き等、確認しつつ進めていくこととした。

11. 2023 年 IAEA/TWGFPT 報告（資料 11）

尾形部会長から、IAEA TWGFPT 2023 年会合への出席について報告された。

その他

尾形副部長より、2023 秋の大会及び 2024 春の年会における、プログラム編成 WG 委員と枠組み編成 WG 委員の選任について説明され、承認された。

次回の運営小委員会は、核燃料夏期セミナー開催に合わせて、令和 5 年 8 月 28 日（月）12 時 20 分から 13 時 10 分（50 分間）の昼休み時間帯にて開催することとした。

以 上